



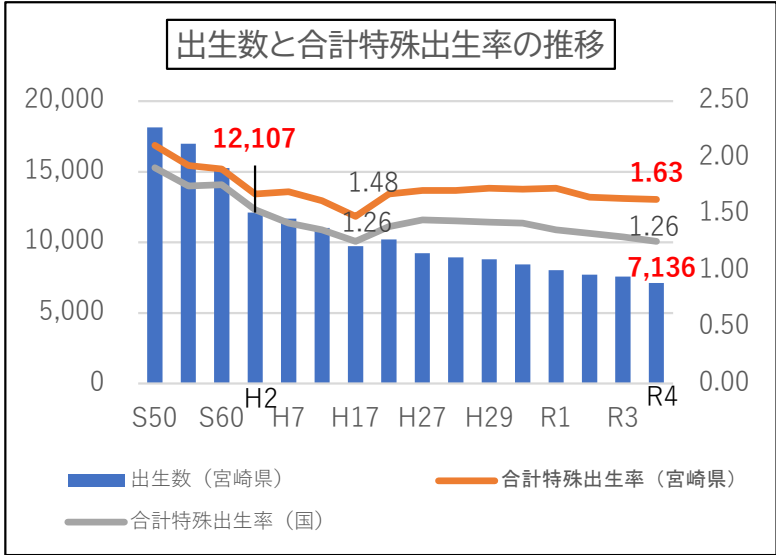
## ひなたの出逢い・子育て応援運動の推進について





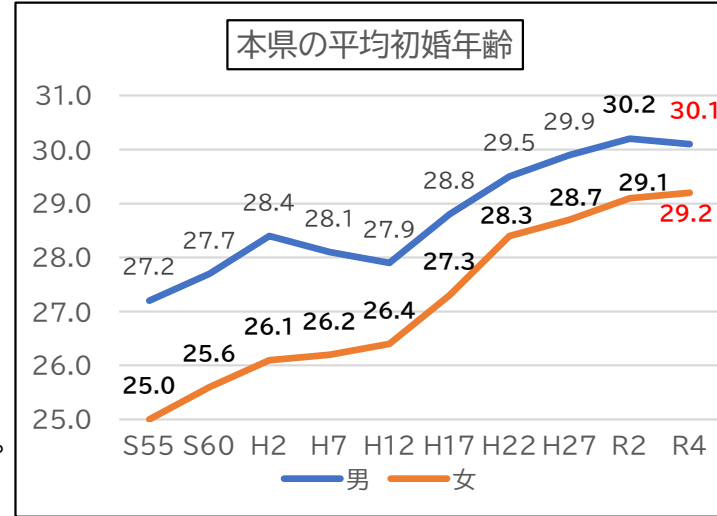
# (1)少子化の現状

## 1 少子化の進行



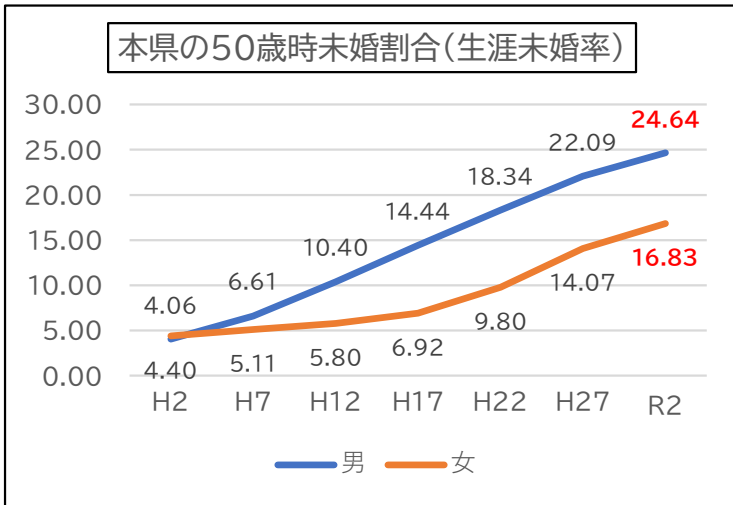
- 合計特殊出生率は、平成17年を底に、持ち直しの動きが見られたが、近年は低下傾向
- 出生数は約30年で4割減少
- 令和4年(概数)は7,136人と過去最少。

## 3 少子化の要因②【晩婚化】



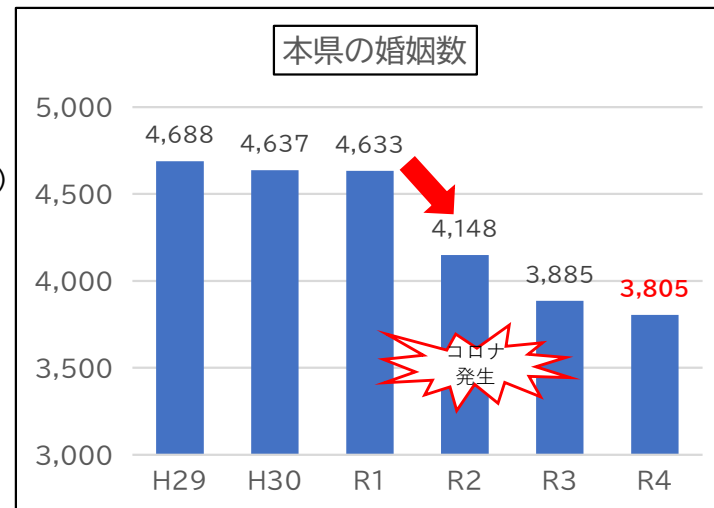
- 平均初婚年齢は男女とも上昇傾向  
男性 30.1歳(全国2位)  
女性 29.2歳(全国18位)  
(第1子の出産が遅くなる  
と第2子以降に影響)
- <全国平均>  
男性 31.0歳  
女性 29.4歳

## 2 少子化の要因①【未婚化】



- 平成2年に男女とも4% 台だった  
50歳時未婚割合は  
男性 24.6%(全国4位)  
女性 16.8%(全国30位)  
と大きく上昇
- <全国平均>  
男性 28.3%  
女性 17.8%

## 4 少子化の要因③【コロナ禍による婚姻数減少】



- 新型コロナの影響により出会いの機会が減ったことや、経済的不安感から婚姻数は大きく減少  
R1→R2 ▲10.5%
- 令和4年(概数)は3,805件(▲2.1%)  
(全国値では3年ぶりに増加)。

## (2) 未来みやざき子育て県民運動の取組・成果・課題（解決の方向性）

県民全体で子育てを応援する機運を醸成するとともに、誰もが安心して子どもを生み、子育てが楽しいと実感できる環境づくりを目的として、平成23年度から「未来みやざき子育て県民運動推進協議会」を設置し、企業・団体等が登録して、県民総ぐるみで取り組んできた。

### ○主な取組

平成23年度	未来みやざき子育て県民運動推進協議会設置
平成23年度～	子育て応援フェスティバル開催
平成25年度～	子育て応援カードキャンペーン事業開始
平成27年度～	みやざき結婚サポートセンター設置・運営開始
平成29年度～	ライフデザイン事業開始
令和 2年度～	ひなたのグループ婚活事業開始 みやざき子育て応援宣言
令和 4年度	フレフレハレ晴れ！ひなたの結婚応援事業実施

### みやざき子育て応援宣言

「希望する誰もが安心して子どもを生むことができ、子育てを楽しみと感じられるみやざき」を目指して、令和2年7月に知事と県内の全市町村長による「みやざき子育て応援宣言」を行いました。



### 市町村長それぞれの「私たちの子育て応援宣言」

※このほかの取組として、推進協議会総会（7回）、総会に併せて子育ての専門家等による講演会・シンポジウム(8回)、子育て表彰（個人27・企業37・団体46 計110）など。

## ○主な成果

項目	H25	H30	R4
未来みやざき子育て県民運動推進協議会参加団体数	212団体	360団体	453団体
子育て応援サービスの店の登録店舗数	1,197店舗	1,407店舗	1,573店舗
みやざき結婚サポートセンターにおける成婚数		61組	136組
子育てに関する不安感や負担感を感じている県民の割合		62.3%	42.6%
安心して子どもを生むことができ、子育てを楽しんでいると感じられる県だと思ふ人の割合			66.6%
「仕事と家庭の両立応援宣言企業」の登録数	442件	1,145件	1,455件
子育て世代包括支援センターの設置市町村数		9市町村	26市町村
地域子育て支援拠点の設置市町村数、箇所数		21市町 72箇所	21市町 74箇所
病児保育事業の実施市町村数、箇所数		14市町 24箇所	16市町 32箇所
一時預かり事業の実施市町村数、箇所数		19市町 342箇所	19市町 382箇所
放課後児童クラブ数	208クラブ	254クラブ	285クラブ

## (2) 未来みやざき子育て県民運動の取組・成果・課題（解決の方向性）

### 【課題】

- ① 出逢い・結婚に対する取組  
コロナ禍により出逢いの場や機会が減少し、婚姻数が大きく減少。（少子化の要因となる）出逢い・結婚に対する取組が十分でない。
- ② 県民や企業等との認識の共有  
少子化、未婚化・晩婚化の危機的状況や社会・産業に及ぼす影響について、県民や企業等と認識の共有が十分でない。
- ③ 若い世代の不安感・負担感  
若い世代には結婚や子育てへの不安感・負担感がある。結婚・子育てや将来の人生設計についての意識が十分でない。



### 【解決の方向性】

- ① 現行の「子育て支援」運動を「出逢い・子育て応援」運動に見直し、「出逢い・結婚」応援の取組を強化するとともに、県民・企業・行政等が一体となって、子育てだけでなく出逢いも応援する機運の醸成やライフステージに応じた支援を行う。
- ② 若い世代や企業・団体との意見交換の場を設けるなど、県民や企業等との積極的な認識の共有を図るとともに、応援運動の推進体制を強化する。
- ③ 応援運動は、上記課題解決に向けた3つのプロジェクトで構成し、各事業の推進にあたっては、県・市町村は部局横断的に取り組むとともに、県・市町村・企業等との連携強化を図る。

1 基盤整備プロジェクト

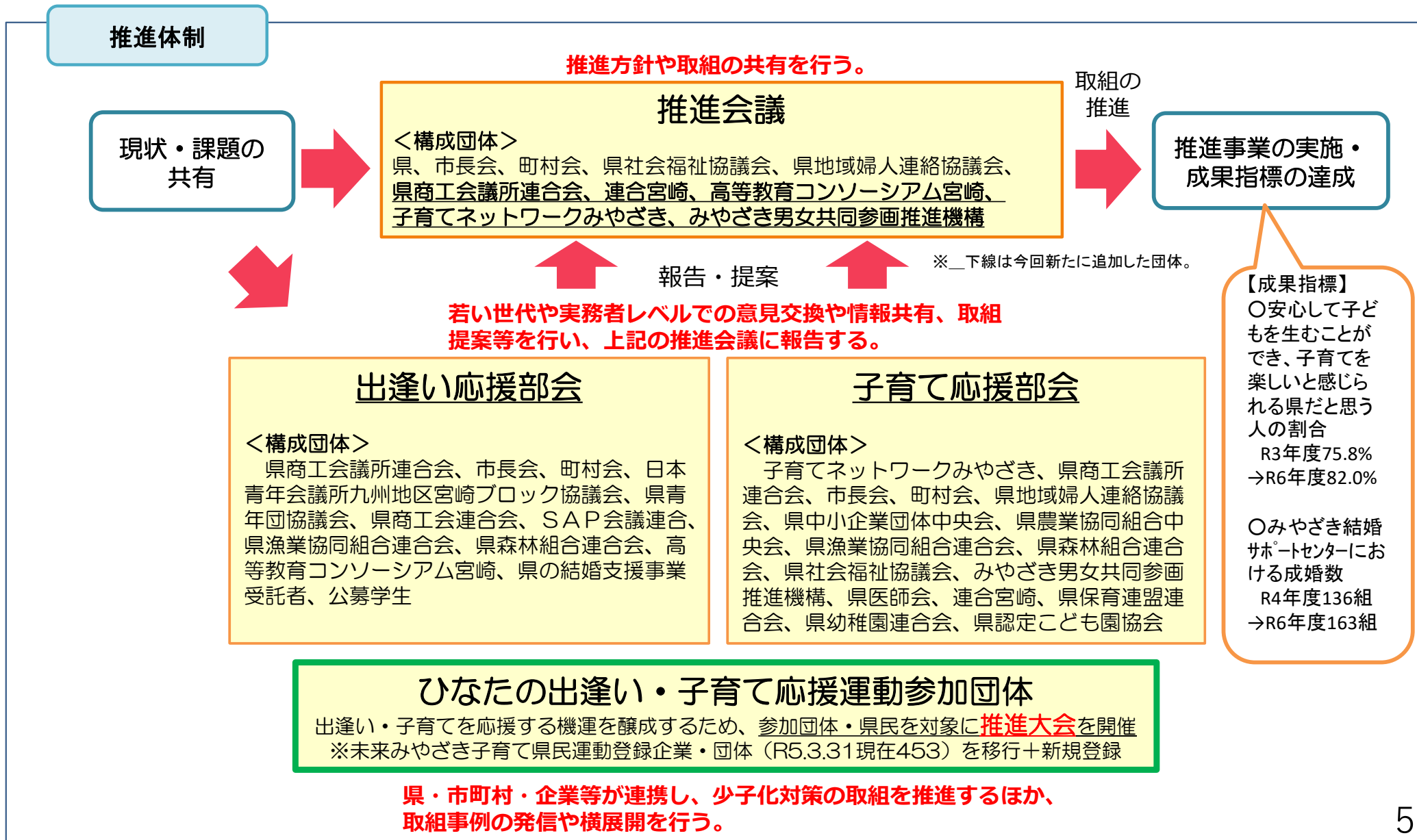
2 出逢い応援プロジェクト

3 子育て応援プロジェクト

### (3)ひなたの出逢い・子育て応援運動の推進

#### 【応援運動の目的】

出逢い・子育てを応援する機運の醸成やライフステージに応じた支援を通して、希望どおりに家族を持つことができ、子育てが楽しいと感じられるみやざきづくりを推進する。



## (4) 今後の取組

### ○ 令和5年度の取組～ライフステージに応じた切れ目のない支援

全ての事業において市町村と連携。

☆：企業・団体等と連携

★：学生と連携

### 出逢い・子育て応援に関する機運醸成・環境づくり等

- ・ ひなたの出逢い・子育て応援運動推進事業(推進大会開催) ☆★
- ・ 子育て応援フェスティバル ☆★
- ・ 出逢い・子育て環境づくり支援事業 ☆★
- ・ 出逢い・子育て支援ポータルサイトの充実 ☆★

- ・ 子育て応援カード ☆

① 未来につなげる少子化対策調査事業 ☆

- ・ 少子化対策市町村支援事業

1 基盤整備プロジェクト

3 子育て応援プロジェクト

#### 結婚前

- ・ ライフデザイン事業 ☆★  
(学生・社会人向け)
- ・ 婚活イベント学生アイデア  
コンテスト ★

#### 出逢い・結婚

- ・ みやざき結婚サポート事業 ☆
- ・ ひなたのグループ婚活事業 ☆

#### 妊娠・出産

- ① 不妊治療費支援事業
- ① 妊産婦健診通院支援事業
- ・ 出産・子育て応援事業

#### 子育て

- ① 「家事・育児」シェア推進事業 ☆
- ① 病児保育利用促進事業
- ① おむつの負担軽減モデル事業
- ・ 子育て支援乳幼児医療費助成事業
- ・ ライフデザイン事業(新婚世帯向け)
- ・ 地域こども・子育て支援事業  
(13事業)

2 出逢い応援プロジェクト

3 子育て応援プロジェクト

※①は6月補正事業



# (4)今後の取組

## 機運醸成

○ 企業・団体等の登録制度の見直し

【現行】



未来みやざき子育て県民運動推進協議会  
(453団体)

出会い・結婚応援企業 (34社)  
(従業員の出会いや結婚を応援し、みやざき結婚サポートセンターの協力企業等)

縁結び応援団 (87団体)  
(出会いイベントを開催する企業・団体・結婚相談所)

子育て応援カード協賛店 (1,573店舗)

赤ちゃんの駅設置施設 (574施設)

統合

継続

【見直し後】



ひなたの出会い・子育て  
応援運動参加団体



代表店舗の登録

連携



他部局との連携～商工観光労働部

仕事と生活の両立応援宣言 (1,468社)  
(R5.6.1現在)

ひなたの極み (61社) (R5.6.7現在)

# 1 基盤整備プロジェクト

## ひなたの出会い・子育て応援運動 推進大会

県内の出会い・子育てを応援する機運を高めるため、企業・県民を対象に、子育て表彰や講演会、パネルディスカッション等を内容とする推進大会を開催します。

(今年度の開催予定)  
会 場：ウェルシティ宮崎  
開催日：10/7日(土)



## 出会い・子育て 環境づくり支援事業

これまでの子育て環境作り補助金の対象事業を出会い支援まで拡充し、多様な主体による取組を支援します。



地域の实情に応じた創意工夫のある  
子育て支援の取組を応援します

令和4(2022)年度  
みんなで取り組む子育て環境づくり支援事業  
募集要項

1 目的  
社会全体で子育てを応援する気運づくりを推進するため、民間団体等の多様な主体による子育て家庭が安心して子育てできる環境づくりに資する取組を支援し、子ども子育て家庭の支援につなげることを目的とします。

2 対象事業の内容及び補助額等  
(1) 対象事業は、以下のいずれかに該当する事業とします。  
ア 子ども子育て家庭を支援するための交流の場づくり  
イ 社会全体で子育てを支援する取組推進のためのセミナー又はイベント等の開催  
ウ 子ども子育て家庭と多様な世代との交流の場づくり  
エ 地域の団体等と連携した子ども向けの伝統文化・行事等の体験の実施  
オ 子どもに多様な体験を与えるための芸術・文化・遊び等の実施  
カ 訪問支援など外出困難な家庭への支援  
キ 地域の子育て支援ボランティアの育成、活動参加の仕組みづくりの取組  
ク 子ども子育て家庭への成長を目的とした民間主体における自主研究等の取組であって、他の子育て団体等との連携を伴うもの  
(2) 補助率及び補助上限額は、以下のとおりです。  
補助率 1/2以内  
補助上限額 20万円

3 応募資格  
県内に事務所を有する子育て支援団体、児童館や地域子育て支援拠点等を運営する団体、大学等の研究機関等はこれらの団体等が実施した子育て支援グループとします。  
なお、以下の場合は補助金は交付しませんので御留意ください(事業採択決定後の交付申請時に確認を行います)。  
- 暴力団、暴力団員又はそれらと密接な関係を有する者

## 出会い・子育て支援 ポータルサイトの充実

【すくすくみやざき】 【えんむすびみやざき】  
各種イベントや支援情報を掲載



## 少子化対策市町村支援事業

少子化対策地域評価ツールを活用し、市町村ごとの見える化データを提供するとともに、市町村が実施する少子化対策事業を支援します。

## 未来につなげる 少子化対策調査事業

合計特殊出生率が1.8を超えることを目指して、外部有識者を交えた研究会の開催や市町村ごとの少子化要因の見える化を図ることで、本県の現状分析や今後の対策を検討し、少子化対策の再構築を図ります。8



## 2 出逢い応援プロジェクト

### ライフデザイン事業

若い世代を対象に、仕事・結婚をはじめとした人生設計について考える機会を提供します。

これまで実施してきた、学生向け講座に加え、新社会人・新婚世帯向けの講座を追加し、県内各地で開催する予定です。



### 婚活イベント 学生アイデアコンテスト

学生に、県内の未婚化・晩婚化・少子化の現状を認識してもらい、結婚について考える機会とするために開催します。



### みやざき結婚サポート事業

「みやざき結婚サポートセンター」を県内3カ所に設置し、結婚を希望する会員男女に対する1対1の出会いをサポートしています。

成婚数：136組（R5.3月末累計）



### ひなたのグループ婚活事業

市町村や企業等と連携してグループ単位での出会いの場を提供するとともに、中山間地域と都市部など広域的な交流の機会を創出します。



### 3 子育て応援プロジェクト

#### 子育て応援フェスティバル

毎年11月に県内の子育て団体や企業等の活動紹介とステージイベント等を実施しています。2日間で毎年2,000名以上が訪れます。



(今年度の開催予定)

会場：宮交シティ（紫陽花ホール他）  
開催日：11/18日（土）、19日（日）  
内容：子ども応援ステージ  
学びの体験コーナー等

#### 家事・育児シェア推進事業

男性の育児休業取得促進セミナーや親子参加型イベントの開催により、子育ての機運醸成を図り、男性の家事・育児参加を促進します。



- ①パパの育休取得促進事業
- ②企業連携型子育て応援イベント事業

#### 子育て応援カード

子育て応援カード協賛店に提示すると、各協賛店が設定している割引などのさまざまなサービスが受けられます。

スマートフォンの画面提示でサービスを利用でき、協賛店の地図検索もできます。

協賛店：1,573店舗  
(R5.3末現在)



#### 病児保育利用促進事業

病児保育施設を円滑に利用することができる予約システムの導入補助や、利用料を助成することで、利用者の負担を軽減し、病児保育事業の利用促進を図ります。



- ①病児保育ICT導入促進事業
- ②病児保育利用料無償化事業

### 3 子育て応援プロジェクト

#### おむつの負担軽減モデル事業

保護者や保育士の負担軽減を図るため、おむつのサブスク事業等に取り組む市町村を支援するモデル事業を実施します。

- ①手ぶらで登園おむつサブスク事業
- ②おむつ処分費負担軽減事業

※①②セットで取り組む市町村をモデル事業として支援。



#### 妊産婦健診通院支援事業

心身の負担の大きい妊産婦に対して、妊産婦健診にかかる通院費用を支援し、子どもを安心して生み育てることができる環境づくりを推進します。



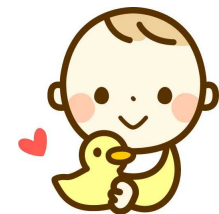
#### 不妊治療費支援事業

不妊に悩む夫婦にとって、大きな負担となっている不妊治療費に対し、経済的支援を行い、子どもを安心して生み育てることができる環境づくりを推進します。



#### 出産・子育て応援事業

安心して妊娠・出産できるように「伴走型相談支援」として面談を実施し、妊婦一人あたり「出産応援給付金5万円」、生まれた赤ちゃん一人あたり「子育て応援給付金5万円」を支給します。





# ひなたの出会い・子育て応援運動 キャッチコピー及びロゴマークデザイン

## 1 キャッチコピー

### その“アイ”にエール！！

- パートナーやこどもにめぐり「逢う」ことを応援したいということを表現。
- 出逢いや子育てから生まれる愛にもかけている。アイ=逢い=愛

## 2 ロゴマーク



- 応援というイメージがわかりやすいようメガホンと旗を、出逢い・子育てに共通するイメージのハートを組み合わせている。
- 黄色とオレンジで宮崎県らしさを表現し、出逢いや子育てにポジティブなイメージを持っていただくことを目指している。